



荻の里

黒部市立荻生小学校

学校だより 14号

平成29年2月7日

目指す子供の姿 **やさしく** **かしこく** **たくましく**

第2回保護者アンケート（自由記述）のまとめをお知らせします

保護者アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

学校の取組や子供たちの姿について寄せられた多くのご意見・ご感想から、保護者の皆様の学校に寄せる期待や子供たちへの熱い思いが伝わってきました。また、改善点のみでなく、成果や学校や子供たちのよさについても多くの記述があり、大変うれしく思いました。

今後も、学校と家庭が情報や意見を共有し同じ方向を向いて、さらに「やさしく、かしこく、たくましい」荻っ子を育てていきたいと思いをします。

紙面の都合上、表現を変更したり、重複したものをまとめたりしています。ご了承ください。

低 **中** **高**と学年を記しています。同年代のお子さんをおもちの保護者の意見も参考にしてください。【○…よい面・成果、▲…課題、★…対策、希望】

1 やさしく（温かい人間関係づくり・家族の触れ合い）

（1）温かい人間関係づくり

友達との関わり方や人間関係について

【学校の様子や取組に関すること】

- 全学年仲がよく、友達同士でも気遣いができる学校だと思う。**低**
- ぽかぽかポストなど、悲しかったことを伝える手段があるのがよい。**低**
- フレンド集会など、全校で交流できる時間を楽しい家でも話している。**低**
- 同学年だけでなく、学校全体で子供たちが仲よく名前呼び合っていることはとてもよい。**中**
- 学年を問わず、仲よく遊んでいるようで楽しい雰囲気が伝わってくる。**中** **高**
- 男女の仲がよいクラスで雰囲気がよく、先生ともよい関係が築けている。**高**
- ぽかぽか言葉やあいさつ運動を通して、友達と仲よくコミュニケーションがとれている。**高**
- ★友達に嫌なことをされたり、言われたりすることがあった。相手のことを思いやる気持ちについて家庭でも話していきたい。学校でもそのような機会をもってほしい。**低**

【子供の姿に関すること】

- 人のことを悪く言うことはほとんどなく、優しい子に育ってきていると感じる。**低**
- 友達のことを思いやり、仲よく遊んでいる。**低**
- 友達が忘れ物をしたら貸してあげるなど、周りをよく見て助けている。**低**
- 低学年の頃より友達間のトラブルも少なくなり、家でも落ち着いて過ごすことが増えた。**中**
- 家族以外の人にも自分から声をかけて会話することができるようになった。**中**
- ボランティアに興味をもつようになった。**中**
- 同級生を思いやり、よい人間関係が築けている。**高**
- 妹の入学を控え、妹やその友達を気にかけて優しく関わることができている。**高**
- 下学年の子や祖父母を思いやる姿を見て、成長を感じる。**高**
- 思い通りにいかないとき、気持ちを立て直すのに時間がかからなくなってきた。**高**
- ▲自分の言動を相手はどう思うかという意識があまりもてていない。**低**
- ▲休みの日はたいてい友達と遊ぶが、ほとんどゲームばかりしている。**低**
- ▲友達とけんかしたことなどを家では言わないため、仲のよい友達がいるのか心配。**中**
- ★友達が困っていたら助けるような優しい人になってほしい。**中**
- ★高学年になり、人間関係が難しくなってきた。個性と協力、人とのつながりと違いを受け入

れられるようになってほしい。[高]

★人の好き嫌いがだんだんとはっきりしてきた。好き嫌いに関係なく、誰とでも上手に付き合っていくことを願っている。嫌いな人でもよいところを見付けるように声がけを続けていきたい。[高]

縦割り活動に関すること

○縦割り班でいろいろな活動をする中で、助け合ったり、声をかけ合ったりする姿を見て、とてもよいと感じている。[低]

○ランチルームで上級生が下級生を気かけ、とてもよい関係を築いてくれている。家でも楽しそうに話している。[低]

○学年に関係なく様々な交流があり、仲よくしてよい。[中]

○縦割り給食では、他学年の子と話ができて楽しいようだ。[中]

○異学年交流があるのがよい。これからも年上、年下との関わりが続くとよい。[中]

あいさつについて

【学校の様子や取組に関すること】

○「あいさつボランティア」の活動に学級みんなで取り組んでいることを誇らしげに話している。その成果もあり、自分からあいさつする機会が増えて、近所の方へも自分からあいさつする様子が見られるようになった。[低]

○あいさつ運動では、以前よりもあいさつがしっかりできるようになったと思う。[低]

○あいさつ運動の取組はとてもよい。1日のよいスタートとしてよい切り替えができ、子供同士のコミュニケーションにもよい。[中]

【子供の様子に関すること】

○あいさつの習慣が少しずつできている。[低]

○スポ少を始めてから大きな声であいさつするようになった。[中]

○家族や近所の人にもあいさつができる。[中]

○笑顔であいさつする習慣が身に付いてきた。[高]

▲朝起きるのが苦手なため、「おはよう」が上手く言えない。「ってきます」「ただいま」の声は大きいのでうれしい。[低]

▲自分からあいさつすることがあまりできない。[低]

▲家でのあいさつの声が小さい。[低]

★あいさつはしているが声が小さいことがあるので、元気な声であいさつしてほしい。[中]

★はずかしがらずに、相手の顔を見てあいさつできるようになってほしい。[高]

言葉遣いについて

○友達と仲よくできる言葉遣いをするよう家でも取り組んでいる。[低]

○言葉遣いは乱暴だが、最近は少しだけ自分でも気にするようになってきた。[中]

○ぼかぼか言葉で、声をかけてくれる。[中]

▲入学してから言葉遣いが悪くなった。相手の気持ちを伝え、少しでも理解してほしい。[低]

▲友達との会話が乱暴で驚くことがある。[高]

★言葉遣いに気を付けてほしい。[中]

望ましい言葉遣いについては、代表委員会で子供たちも話し合い、「君やさんを付けて名前を呼ぶ」「ぼかぼか言葉を遣う」「敬語や丁寧な言葉を遣う」ことを目指して、今、全校で取り組んでいます。一朝一夕に身に付くことではありませんが、根気強く指導を続けていきます。ご家庭でもぜひ、望ましい言葉遣いに対する声がけをお願いします。

先日、スキー練習会の際に、指導にご協力いただいたPTA・地域指導者の皆様から、「気持ちのよいあいさつのできる子供が多かった」との感想をいただき、大変うれしく思いました。

あいさつの大切さはどの子も理解し、気持ちのよいあいさつができたときの心地よさは多くの子供が実感しています。ただ、習慣として身に付き、いつでも自然に声が出せるようになるまでには、あと一息というところです。今後も、さわやかなあいさつが荻生小学校の伝統となるよう、4A運動の要として取り組んでいきます。

(2) 家族の触れ合い

家族の触れ合いについて

- 必ずあいさつができるように、食事を一緒にとり、同じリズムで生活することを習慣付けたいと思っている。低
- 毎日、学校での様子（楽しかったことなど）を聞くようにしている。必ず家族と一緒に食事をしている。中 高
- 学校での話などを聞き、接する時間を大事にしている。寝る前や風呂に入っている時間などに1日のことを話すようにしている。短時間でも何でも話せる環境をつくるよう心がけている。低 中
- 平日は帰りが遅いため、休日は一緒に出かけたり、外で体を動かしたりして、一緒に過ごせる時間を大切にしている。低
- 家の周りの掃除や果物の収穫を家族みんなですて、一緒に達成感を味わうことができた。中
- ペットを飼うことにより、家族の触れ合いが増えた。低
- ありがとうなど、自分の思いを言葉で表すことができるようにしている。高
- 帰宅が遅く、家族の触れ合いは少ないが、優しい子に育っている。高
- ▲平日はゆっくりする時間がとれず、今日あったことをほとんど聞かないまま寝る時間になることもある。低
- ▲叱ることが多いため、性格がゆがまないか心配。寝るときと起きるときは最上級の愛情表現で思いを伝えるようにしている。低
- ★家では、おやつもおもちゃも仲よく分け合うことを目標にしているが、まだ、自分中心のところがあるため、他人に優しくできるよう頑張っている。低

家庭での手伝いについて

- 進んで部屋の片付けやふろ掃除などをしてくれるようになり、うれしく思っている。低
- 手伝いを進んでできることが増えてきた。がんばってくれたときには、感謝の気持ちを伝え、大いに認めるようにしている。低
- 弟が生まれてから、自分から手伝いをし、態度が優しくなった。低
- 家での手伝いが素直にすぐできるようになった。中
- 料理の手伝いをよくしてくれる。料理や片付けなどをしてくれるようになった。中 高
- ▲家での手伝いはあまりせず、約束しても「忘れていた」と言うことが多い。低

2 かしくく（分かる授業づくり・家庭学習の習慣付け）

(1) 分かる授業づくり

【学校の様子や取組に関すること】

- 英会話科の公開授業があつてよかった。小さい頃から本物の英語に触れられるのがよい。低
- 苦手な学習も丁寧に把握し、時間をかけて個別に対応してもらえていることが子供の話からよく伝わってくる。学校の授業でしっかり理解している。低
- 分かりやすく楽しい授業のおかげで苦手意識のあった教科も興味をもって学習している。低
- 学習参観を通して、丁寧に授業を進めている様子がよく分かった。低
- 間違っているところなど、しっかり教えてもらえており、感謝している。低
- いつも学校や授業が楽しいと言っているのがありがたい。低
- 合格できるまで何回も再テストして見ていただき、ありがたい。中
- ゲストティーチャーによる授業等、興味を引き出すような様々な工夫がなされている。中
- 校外学習等、体験を通して学んでいるのがよい。中
- 体験してきたことをユーモアを交えて発表する姿を学習参観で見て、頼もしく感じた。中
- 学習参観で以前よりも落ち着いて授業を受けているように見えた。中
- 毎日の小テストやドリルの繰り返しがよい学習になっている。毎日の漢字プリントの取組のおかげで、以前に比べて漢字が定着している。高
- 最小公倍数、最大公約数の簡単な求め方を習ってきた。算数が苦手なため、大変助かっている。高
- 早く学習が進んだ子供が友達に教えることにより、教える子供の復習にもなっていてよい。高

- ▲学習参観の様子を見ていると、同じ子供ばかりが発言していると思う。[中]
- ★分からないことは友達や先生にすぐその場で聞き、そのままにしないでほしい。[低] [中]
- ★分からないことを質問できる場所や時間を設定してほしい。[高]

「分からない」「できない」と言える学級の雰囲気やいつでも質問できる環境を整えることは学校として最も大切にしたいことです。「分かりたい」「できるようになりたい」子供の気持ちをしっかりと受け止め、どの子も安心して学習に向かえる学校づくりに努めていきます。ご家庭でも、お子さんが授業の内容を理解できずに困っている様子を感じられた際には、ぜひ、「明日、先生に質問してごらん」と背中を押していただければと思います。

発言することに消極的な子供も自信をもって表現できるよう、ペアやグループ等の少人数で話し合う学習活動や、事前に自分の意見をノートにまとめる場を設定するなど、どの子も主体的に学習に取り組むことができる授業づくりを継続していきます。

【学校の様子や取組に関すること】

- 自学ノートの取組により、宿題以外にも勉強する習慣の意識付けがしやすい。[低]
- 家庭学習がんばり週間等があることで、時間を決めて学習することができてよい。[低]
- 自学ノートにこつこつ取り組む習慣が付いているのでとてもよい。[高]
- 自学ノートを宿題にすることで、自分のやりたい内容を勉強できているのがよい。[高]
- 宿題と自学のバランスがよい。[高]
- 少し難度の高い問題を宿題に出されることで、じっくり考えて解けたときの達成感を感じているようだ。[高]
- 小教研で休みの日に、1限、2限・・・と学習するスケジュールを立ててあったおかげで、意欲的に取り組むことができていた。[低] [中]
- 家で読書をほとんどしないため、読書週間に目標を立てて取り組んだことで、テレビを見る時間が読書に変わりとてもよかった。[高]
- ★自分からは進んで学習に取り組めないため、宿題として出してもらえるのがよい。量が多いと適当にやることになるため、適量を出してほしい。[高]

【子供の様子に関すること】

- 読書量が多く、語彙力が高い。音読も上手である。[低]
- 九九や読書、クラフト、絵など、自分なりに時間をつくり、楽しんで取り組んでいる。[低]
- その日の授業を振り返り、苦手と感じたことを復習するなど、自学ノートを活用することができるようになってきた。[低]
- 宿題以外でも、自学など、毎日勉強できている。[低]
- 自分なりの勉強法が見付けられてよい。[低]
- 帰ってきたらまず宿題を済ますよう約束している。家に帰るとすぐ宿題に取り組んでいる。[中]
- 自学ノートは1学期よりも自分で計画的に進めることができています。[中]
- スポ少もあり、家庭学習時間の確保は難しいが、自分で時間の管理ができるようになり、集中して学習できている。[中]
- 勉強がどんどん難しくなるのでついていけるか心配だが、宿題を忘れずがんばっているのが感心している。[低]
- 家でもしっかり復習する時間をつくっている。[低]
- 自学ノートを休みの日でもがんばっていて、学習習慣が身に付いてきていると思う。[低]
- 自学ノートに苦手な算数をするが増えてきた。[低]
- 自学の内容を一人で考えるところまではいかないが、自学が習慣になってきている。[低]
- これまで朝になって宿題をすることが多かったが、学童で宿題をしてくるようになった。[中]
- 帰宅後はまず翌日の準備、宿題というリズムが身に付いてきた。[中]
- 自学ノート7冊の目標に向かってがんばって取り組み、達成できたことが自信につながっている。[中] [高]
- 毎日ではないが自主的に勉強に取り組む姿が見られるようになってきた。[高]
- 進んで勉強をがんばっている。[高]

- ▲自学は何をしたらいいか、毎日、子供も親も悩んでいる。[低]
- ▲帰ってきてから宿題に取りかかるまでに時間がかかる。[低]
- ▲授業は理解しているものの、復習したり練習したりすることを面倒くさがる。[中]
- ▲宿題をダラダラしながらやっている。[中]
- ▲習ったことでも忘れていることがあり、いつも家庭学習で見ることができるわけではないため、心配。[中]
- ▲帰宅時間が遅くなったこともあり、宿題も寝る前に適当にしている。自学も簡単な内容になりがち。[中]
- ▲ゲームが止められず、注意しないと勉強をしない。[中]
- ▲スポ少で帰りが遅く、宿題をするのがやっとの様子。[中]
- ▲宿題を早く終わらせようと慌てているような感じがする。もう少しじっくり勉強してほしい。[高]
- ▲自学に取り組むというより、いかに早く終わらせるかに重点を置いており、内容が学年に相応していない。[高]
- ▲毎日に取り組んでいるが、学年×10分の時間には達していない。[高]
- ▲勉強はしているが、似たような内容ばかりのため心配。[高]
- ★本人に任せていると自分の得意なことしかしないため、親の関わりの必要性を感じる。[低]
- ★自学がパターン化してきているので、何か工夫ができるよう導いてやりたい。[中]
- ★自学ノートのシールなどでやる気を引き出され、よくがんばっているが、宿題で〇ページと出されるとそれ以上はやらないため、もう少し自主的に取り組んでほしい。[高]
- ★漢字の練習等で、今のうちからきれいな字で書くことを身に付けてほしい。[低]
- ★自学についてもっと家庭で見えていく必要があると反省している。アドバイスを素直に聞こうとしないのでどう接すればよいか悩む。[低]
- ★学校での授業は理解できているようだが、分からないとすぐに投げ出す傾向にあるので、根気強く取り組んでほしい。[中]
- ★5年の勉強はしっかりしないと中学校でついていけないことを話し、少しずつ宿題をしている。[中]
- ★家庭学習の目標時間(学年×10分)設定について、机に向かう習慣付けを目的とするのか、学力向上を目的とするのかを親自身迷っている。学力が向上するにつれて宿題等にかかる時間は短くなるため、時間はあまり気にしなくてもよいのではないかなと思う。[高]

家庭学習については、まずは学習の習慣付けを第一の目的として、学年ごとの目標時間を設定しています。さらに、集中して学習に取り組み、短時間でより多くの課題に取り組むことができる力を身に付けることはその先にある大きな目的です。

高学年になったからと言って、いきなり50分～1時間の家庭学習に取り組むことは容易ではありません。低学年のころの10分～20分から始めて、学年が上がるごとに少しずつ学習時間を増やしていくことにより、無理なく学習習慣を身に付けていくことを願っています。

3 たくましく(心身の健康づくり・規則正しい生活リズム)

(1) 心身の健康づくり

- 運動は苦手だが、体力はあり、毎日、元気いっぱいである。[低]
- なわとび検定などがあることで、目標を意識して運動に取り組めるようになってきた。[低]
- 体育の時間以外でも、休み時間等、のびのびとよく体を動かしている。[低] [高]
- 上級生になわとびや体育館での遊びを教えてもらったことで体力づくりを意識しており、チャレンジ3015にもつながっている。[低]
- みんなでチャレンジ3015運動等、体を動かす機会があるのがよい。さらに、体育で長距離走などに取り組むことで忍耐力がつくとよい。[低]
- 学校で一輪車等のいろいろな運動に取り組んでいるため、家でも外でよく遊んでいる。[低]
- スポ少を通じて、体もメンタル面も強くなってきたと感じる。あいさつや礼儀など学ぶことも多く、多くの仲間もできてよかった。[高]
- 家でも学校でも進んで体を動かしている。[高]

- わんぱくタイムの成果で体力がついてきた。低 高
- 1年を通してわんぱくタイムで体を動かしているのがよい。中
- 外遊びが好きで、暗くなるまで外で遊んでいる。中
- スポ少でチームワークよくがんばっている。高
- ▲家ではゲームばかりして全く運動しない。低
- ▲寒い時期はゲーム等で家の中で過ごすことが増えてしまう。中
- ▲帰宅後は体を動かす機会が少なく、運動不足。テレビも少し見過ぎとを感じる。高
- ★学校では体をたくさん動かしてほしい。低
- ★家では体を動かすことがあまりなく、ゲームの時間が長くなる。個人の課題や宿題としてなわとび等を取り入れてもらえるとありがたい。中
- ★肉中心の食生活を見直し、野菜を取り入れるようにしたい。中
- ★わんぱくタイムで少しでも持久力がつくことを願っている。高
- ★帰宅後は体を動かして遊ぶことがないので、今後、家族で運動するようにしたい。低

(2) 規則正しい生活リズム

早寝・早起き 生活リズムについて

- 早寝・早起きがよくできている。休日は寝るのが少し遅くなることがある。低
- 早寝・早起きの習慣がしっかり身に付いてきた。低
- 自分で時計を見て行動することが少しずつできるようになってきた。低
- 早寝の習慣は付いている。現在は、目覚まし時計で起きることにチャレンジしている。低
- 家では好き嫌いをするのに給食では好き嫌いなく食べていることに感謝している。中
- 夜9時半までには就寝するよういつも心がけている。高
- 自分で起きて何時に宿題をし、寝るのは何時と考えて行動できるようになってきた。高
- 規則正しい生活を毎日頑張っていると感じる。高
- 毎朝、自分で起きて、朝食を食べ、登校している。高
- 少食だった食事が多くなり、体格もよくなった。高
- ▲早寝・早起きが定着しておらず、平日は9時半までに寝るよう心がけているが、朝6時半の起床となりバタバタしている。低
- ▲ゲームの習慣が付き、言わないとやり続けている。メリハリを付けさせたい。低
- ▲家での歯磨きを適当にすませている。低
- ▲平日は9時半までに寝るよう心がけているがなかなか守ることができない。低
- ▲習い事や勉強等のため、どうしても寝る時刻が遅くなるのが悩み。低 中
- ▲週末は親のペースのために、生活リズムがくるってしまいがちなので直したい。低
- ▲家でDVDを見ていることが多く、寝るのが遅くなる。低
- ▲整理整頓が苦手である。低
- ▲スポ少の練習の日は疲れて、夕食を食べるとすぐに寝ている日が多い。中
- ▲兄が遅くまで起きているため、一緒になってテレビを見ている。中
- ▲寝る時間が少しずつ遅くなってきているのが気になる。高
- ★時間を見て行動するようになってほしいので、すぐには口に出さず様子を伺っている。特に、自分で起きること、10時には寝る意識を育てたい。中
- ★マイペースで時間配分が苦手なため、事細かく伝えている。中

12月に開催した学校保健委員会では、3～6年生がテレビやゲームが脳に与える影響についての話を聞き、望ましい生活習慣について考える機会としました。ゲームを長時間することの危険性や睡眠時間を確保することの大切さについては、十分に理解できたものと思います。ただ、「分かってはいても、やめられない」というのが多くの子供の気持ちでもあります。「家庭学習がんばり週間」や「ふり返ってみよう週間」に合わせてゲームやテレビ、インターネット利用の時間を記録することや「ノーゲームの日」を設定するなどについても検討していく必要があると感じています。各ご家庭でも、ゲームやインターネットの利用についてお子さんと話し合い、時間や約束を決めて使用させるようお願いいたします。

4 その他

- 日直のスピーチは、話すことを本で調べたり親に相談したりして大変そうだが、家族の会話の時間にもなっている。高
- ホームページを楽しみにしている。ホームページを見ることで、子供との会話が楽しくなっている。学校全体の様子が分かるため、これからも続けてほしい。高
- 学校で顔を合わせると、担任以外の先生方もよく話しかけてくれるので安心できる。高
- 2学期は地域行事が多く、スポ少の試合等と重なることがあったが、子供も楽しみにしているため、少しの時間でも参加するようにした。高
- 収穫祭のとき、普段、家であまり飲まないみそ汁を「おいしい」と喜んでいた。よい機会だったと思う。低
- 学習参観で内容を全て覚えて発表しているのを見て、学校でがんばっていると思った。中
- ★他校で行っているフリー参観（普段の様子を見ることが出来るもの）を実施してほしい。中
- ★友達の家によく遊びに行くが、迷惑をかけていないか気になる。中
- ★生き物が大好きなため、学校で生き物と触れ合う機会を増やしてほしい。低
- ★学校の〇〇週間の間は張り切って取り組むが、その後も意欲を維持できるように、学校でのもう一声があるとよい。低
- ★靴下の色は黒色の方が汚れが目立たないため、母親としてはありがたい。中 高
- ★チャイムを鳴らしてほしい。低
- ★以前やった「もみ子」先生の講座（理科実験）をまた受けさせたい。低
- ★子供の作品が校外で展示されるときは事前に知らせてほしい。中
- ★11月は小中学校ともに学習参観があるため、英会話科の授業公開は別の月にあると休みが取りやすく参観しやすいのではないかと思います。中

学習参観やPTA教養講座の開催についてもいろいろとご意見をいただきました。今年度開催した4回の学習参観には、4月97.8%、7月94.2%、11月89.1%、2月89.9%と、毎回約9割の保護者の皆様にご参観いただきました。お忙しい中、子供たちの様子を見ることのできる学習参観を最優先していただいていることに大変感謝しています。今後も、できるだけ多くの保護者にご参加いただけるよう、内容や開催日の設定について、他の学校行事やPTA行事等とも調整を図っていきたいと思います。

本校では、現在、授業の開始・終了時等のチャイムは鳴らしていません。子供たちが教室を離れ、グラウンドや体育館等で遊ぶことの多い大休憩や昼休みには、終了5分前に委員会児童の放送により、遊びをやめて授業や清掃等、次の活動の準備に入ることができるようにしています。今後も、4A運動の「あつまり」の推進とも合わせて、一人一人が「時計を見て」「互いに声を掛け合って」学校生活を送ることができるよう指導していきます。

学習参観・学級懇談会・中学校入学説明会へのご参加ありがとうございました

今年度最後となる2月3日の学習参観では、どの学年も学年のまとめ、締めくくりを意識し、しっかりと学習に取り組んでいました。成長した子供たちの姿をご覧いただけたいと思います。



1年生は年長さんとの交流集会のリハーサルです。

4年生は「二分の一成人式」。お家の方への感謝の手紙を読みました。



最後の学習参観となる6年生。一人一人が将来の夢を語りました。

4～6年 「校内スキー練習会」 糸魚川シーサイドバレースキー

1月27日（金）、4～6年生が校内スキー練習会を行いました。インフルエンザや風邪、体調不良等のため残念ながら参加できない子供も数名いる中、また、時折、強風の吹く天候ではありましたが、参加した子供たちは、けがもなく、全員元気にスキー練習に取り組むことができました。14名の保護者や地域の方々に指導者としてご協力いただいたおかげで、4～6年生63名が15のグループに分かれて練習することができ、どの子供も存分にスキーの楽しさを味わうことができました。4年生の中には、生まれて初めてスキーをするという子供もあり、子供たちにとって心に残る1日になったことと思います。ご協力いただいた保護者・地域の皆様、本当にありがとうございました。



スキー練習会でスキーを教えてくださいありがとうございます。最初はこわくてあまり滑れなかったのに最後には滑れるようになりました。最初はいやでした。でも最後にはもっとやりたい、はやく来年になってほしいと思っていました。来年こそは、苦手な上るのをちゃんと上れるようにして、すぐ止まれて、リフトにも乗れるようにしたいです。

（4年生の「指導者へのお手紙」より）

1～3年 「スマイル・スマイル集会」

4～6年生がスキー練習会を行った1月27日、学校では、1～3年生が「スマイル・スマイル集会」を行いました。この日は、3年生が学校の最上級生となる1年で1度の特別な日です。3年生は、1・2年生を楽しませようと、何日も前からみんなで話し合い、準備をしてきました。1・2年生でグループになり、3年生が行う「空き缶積み」や「ペットボトルボーリング」等のコーナーを回ります。3年生は各コーナーでゲームの説明を行い、2年生はグループのリーダーとなって1年生をリードします。給食時のランチルームでは、入賞チームの表彰式も行われました。こちらもスキー練習会と同様に、子供たちの意欲と成長を感じることもできる楽しい1日となりました。



まずは開会式で3年生がルールや注意の説明をします。

5年「みそ造り体験」 荻生の館

1月31日（火）、5年生が荻生の館で「みそ造り体験」を行いました。荻生公民館のご協力により、毎年5年生がこの時期に行っている恒例の活動です。説明の後、子供たちは、蒸し上げた大豆と米麴を混ぜたものを機械に入れてミンチ状にするところから作業を開始しました。塩を混ぜた後、力強くこねて最後は空気を抜いて桶に入れます。桶の蓋には「荻生小学校 平成29年1月31日」と記入しました。この日造ったみそは、来年度の収穫祭で4年生が作るみそ汁に入れて、荻生地区の皆さんと一緒に味わいます。

荻生地区でとれた米から作られた米麴と荻生地区でとれた大豆を材料として造るみそは、正真正銘の「メイドイン荻生」。地域の方との触れ合いを通して、地域で育つ荻っ子であることを実感する活動でした。このみそがどんな味になるのか、そして造った5年生はどんな最高学年になっているのか、秋の収穫祭が今からとても楽しみです。